

単元名	ヨーロッパ州	－国どうしの統合による変化－
-----	---------------	-----------------------

1 単元のねらい

ヨーロッパ州において、EU統合が進められてきた理由について、文化の共通性や人口、経済、政治などの視点から考える活動を通して、ヨーロッパでは国家間の国境を越えて統合することで発展を図ろうとしていることがわかる。また、EUが抱える課題について、経済格差や産業の変化などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ州には小国が多いことや地域により異なる農業がさかんなこと、EU設立の目的や統合によって変化した生活、EUの課題などについて理解し、その知識を身に付けている。 ・EU統合の利点や課題について、さまざまな資料から読み取り、理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EU統合が進められてきた理由や統合が可能になった理由、また、統合による変化について、文化の共通性や人々の生活の変化などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ州の自然環境や産業などの地域的特色を理解するために、特に国家間の統合による変化に関心を持ち、単元の課題に対して主体的に追究することができる。

●学習改善につながる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5 単元のまとめ
知識・技能	●	○			
思考・判断・表現		○	●	○	○
主体的に学習に取り組む態度	●				○

3 単元構造図（全5時間）☆獲得する認識

単元名
ヨーロッパ州
-国どうしの統
合による変化-

単元学習前の生徒の認識

ヨーロッパは面積の小さい国が多いということを学習した。小さいながらもスポーツや観光地として有名な国も多い。ヨーロッパ州ってどんな地域なのだろう。

第1時 ヨーロッパ州をながめて 【●主体的に学習に取り組む態度 ●知識・技能】

ヨーロッパ州の自然環境，文化，人口にはどのような特色があるのだろう。

☆暖流 ☆北大西洋海流 ☆偏西風 ☆フィヨルド ☆民族 ☆キリスト教 ☆EU(ヨーロッパ連合)

ヨーロッパ州は暖流の北大西洋海流と偏西風の影響によって、大陸の東に位置する同緯度の地域と比べて冬は温暖な気候であり、全体的に年降水量も少ない。農業は気候の影響を受け、地中海沿岸では、乾燥に強い果実や小麦の生産が盛んである。また、多くの民族が住んでおり、民族を基にした小さな国が数多くある。

ヨーロッパ州では、なぜ統合をめぐるさまざまな動きが見られるのだろう。

第2時 ヨーロッパ統合の動き 【○思考・判断・表現 ○知識・技能】

EU加盟国が増えていったのはなぜだろう。

☆ユーロ

EU加盟国が増えた理由は、「工業の発展」「人々の移動の利便さ」「自由貿易」にある。例えば航空機の部品を各国で組み合わせて作ることで安く販売することができ、効率よく生産することができる。また、関税がかからないことで、安く買い物ができ、経済活動が活発になることで人々の生活が便利になる。

第3時 EUがかかえる課題 【●思考・判断・表現】

EUにはどのような課題があるのだろう。

☆経済格差 ☆国民総所得(GNI) ☆ハイテク産業 ☆外国人労働者 ☆植民地

経済発展を目指すEUには課題がある。EU加盟国間で、国境を越えて働きに行けることから、国民総所得の高い国への人口流出がおこるようになった。結果として、国内の雇用が悪化した。また、加盟国数が多い分、何かを決定するのに時間がかかり、まとまらない。以上のように、EUは経済面と政治面での課題を抱えている。

第4時 持続可能な社会に向けて 【○思考・判断・表現】

ヨーロッパでは環境問題を改善するために、どのような取り組みが行われているのだろう。

☆酸性雨 ☆国際河川 ☆再生可能エネルギー ☆持続可能な社会 ☆エコツーリズム

ヨーロッパでは、大気汚染や酸性雨などの環境問題が起こっている。その問題を改善するために、ごみの分別や再生可能エネルギーによる発電から環境保護に努めている。このようにヨーロッパでは持続可能な社会を目指す取り組みが積極的に行われているので、私たちもできること考え、コツコツと取り組んでいきたい。

第5時 まとめの学習 ヨーロッパ州の学習をまとめよう

【○主体的に学習に取り組む態度 ○思考・判断・表現】

ヨーロッパ統合のメリットやデメリットについてステップチャートにまとめよう。

単元学習後の生徒の認識

ヨーロッパは面積の小さい国が多いけれど、統合することによって各国の技術や人材の移動を可能にし、大国にも負けないぐらいの発展を目指している。一方で人や物の自由な移動の中で弊害もあり、政治的、経済的な課題も抱えている。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	資料および留意点
1 ヨーロッパ州をながめて	<p>ヨーロッパ州の自然環境、文化、人口について、雨温図、写真、グラフ、地図などの資料から読み取ることができる。</p> <p>★暖流 ★北大西洋海流 ★偏西風 ★フィヨルド ★民族 ★キリスト教 ★EU(ヨーロッパ連合)</p>	<p>1 ヨーロッパ州の写真や資料から、ヨーロッパ州には小国が多く、自然豊かであることに気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ヨーロッパ州の自然環境、文化、人口にはどのような特色があるのだろう。</p> </div> <p>2 雨温図や資料から読み取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ローマは夏に降水量が少ない。 ヘルシンキは夏でも20℃以下で涼しく、冬は寒い。 暖流の北大西洋海流と偏西風の影響で冬でも温暖な気候である。 アルプス山脈などがあり、高低差の大きい地形である。 フィヨルドと呼ばれる地形がある。 多くの民族が住んでいるが、言語や宗教などの共通の文化が見られる。 <p>3 読み取ったことを交流し、自然環境、文化、人口にはどんな関係が見られるかをまとめる。</p> <p>《単元を貫く課題》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ヨーロッパ州では、なぜ統合をめぐるさまざまな動きが見られるのだろう。</p> </div>	<p>ヨーロッパの自然や人口、民族などの特色について意欲的に調べている。</p> <p>態度＝読み取りの様子</p> <p>知識＝まとめ</p>	<p>◇ヨーロッパの地図</p> <p>◇各都市の雨温図</p> <p>◇ヨーロッパの年降水量</p> <p>◇ヨーロッパの人口密度</p> <p>◇北大西洋海流と偏西風</p> <p>雨温図で取り上げられている都市とその場所を地図で確認し、降水量や気温の変化について着目できるようにする。</p>
<p>ヨーロッパ州は暖流の北大西洋海流と偏西風の影響によって、大陸の東に位置する同緯度の地域と比べて冬は温暖な気候であり、全体的に年降水量も少ない。農業は気候の影響を受け、地中海沿岸では、乾燥に強い果実や小麦の生産が盛んである。また、多くの民族が住んでおり、民族を基にした小さな国が数多くある。</p>				
2 ヨーロッパ統合の動き	<p>EUの加盟国が増えている理由について、諸資料や仲間との交流から考えることを通して、EUとして統合することによって発展し、貿易や人の交流がさかんになったことに気付く、自分の言葉で表現することができる。</p> <p>★ユーロ</p>	<p>1 「EU加盟国の拡大」の資料から、加盟している国が増えていることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>EU加盟国が増えていったのはなぜだろう。</p> </div> <p>2 資料からEU加盟国が増えている理由について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの国の企業が共同で企業を設立し、国境をこえた技術協力を行うことができるため、安く生産することができる。 貿易品の関税がかからないため、地価や賃金の安い場所に工場を移すことができる。 パスポートなしで国境を超えて自由に移動することができる。 <p>3 読み取ったことを交流し、まとめる。</p>	<p>EU加盟国が増えた理由について、産業や人々の生活、交通の視点から考え、表現することができる。</p> <p>思考＝考察の様子</p> <p>知識＝まとめ</p>	<p>◇EU加盟国の拡大</p> <p>◇EU、アメリカ、日本の比較</p> <p>◇複数の国で分業して生産される航空機</p> <p>◇ユーロトンネルを出るユーロスター</p> <p>◇東ヨーロッパの主な国の輸出相手国の変化</p>
<p>EU加盟国が増えた理由は、「工業の発展」「人々の移動の利便さ」「自由貿易」にある。例えば航空機の部品を各国で組み合わせて作ることで安く販売することができ、効率よく生産することができる。また、関税がかからないことで、安く買い物ができ、経済活動が活発になることで人々の生活が便利になる。</p>				

<p>3 EUがかかえる課題</p>	<p>EUが抱える課題について諸資料から調べる活動を通して、EUには政治的・経済的課題があることについて考えることができる。</p> <p>★経済格差 ★国民総所得(GNI) ★ハイテク産業 ★外国人労働者 ★植民地</p>	<p>1 「EUへの加盟を喜ぶクロアチアの人々」の写真と「EUからの離脱の決定を喜ぶイギリスの人々」の写真を比較して違いを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> EUへの加盟はメリットだけではない。 EUへの加盟に対し、不満をもっている人もいる。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">EUにはどのような課題があるのだろう。</p> <p>2 様々な資料からEUの課題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 加盟国数の増加によって、意見を調整し決定するまでに時間がかかる。 EU加盟国内で経済格差がある。 EU加盟国内で国民総所得に差がある。 EUの補助金の負担額が多い国がある。 国民総所得の低い国から高い国への移動が多く、国内の雇用が悪化する。 EU内の移動が自由になったことで、外国人労働者の増加につながっている。 <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>経済発展を目指すEUには課題がある。EU加盟国間で、国境を越えて働きに行けることから、国民総所得の高い国への人口流出がおこるようになった。結果として、国内の雇用が悪化した。また、加盟国数が多い分、何かを決定するのに時間がかかり、まとまらない。以上のように、EUは経済面と政治面での課題を抱えている。</p>	<p>EUの課題について、EU加盟国間の対立やEUと他地域との関係に着目して、考えることができる。</p> <p>思考＝考察の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇EUへの加盟を喜ぶクロアチアの人々 ◇EUからの離脱の決定を喜ぶイギリスの人々 ◇EUへの拠出額とEUからの受取額の上位3か国 ◇EU各国の一人あたりの国民総所得 ◇ヨーロッパに居住する外国人の出身国 <p>国民総所得の資料から所得の格差があることに気付くことができるようにする。</p>
<p>4 持続可能な社会に向けて</p>	<p>ヨーロッパ州の環境に配慮した人々の活動を、諸資料の読み取りを通して理解し、表現できる。</p> <p>★酸性雨 ★国際河川 ★再生可能エネルギー ★持続可能な社会 ★エコツーリズム</p>	<p>1 ヨーロッパでの環境問題について提示する。</p> <p>大気汚染、酸性雨、豪雨など</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ヨーロッパでは環境問題を改善するために、どのような取り組みが行われているのだろう。</p> <p>2 様々な資料から環境問題への取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ライン川では、国際河川を利用する国々が協力して汚水処理施設の設置や工場からの規制を行っている。 温室効果ガスの排出を減らすために、再生可能エネルギーを利用した発電をしている。 家庭の電化製品をリサイクルしている。 持続可能な社会を目指す取り組みが行われている。 環境に配慮した、持続可能な観光としてエコツーリズムも行われている。 <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>ヨーロッパでは、大気汚染や酸性雨などの環境問題が起こっている。その問題を改善するために、ごみの分別や再生可能エネルギーによる発電から環境保護に努めている。このようにヨーロッパでは持続可能な社会を目指す取り組みが積極的に行われているので、私たちもできること考え、コツコツと取り組んでいきたい。</p>	<p>ヨーロッパ州の環境に配慮した消費生活やエネルギー利用、観光に対する考え方などを資料から読み取り、表現することができる。</p> <p>思考＝考察の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ドイツの風力発電 ◇立ちがれた森林 ◇ライン川を航行する貨物船 ◇パークアンドライドの仕組み ◇再生可能エネルギーによる発電量 ◇農村で乗馬を楽しむ人々

<p>5 ヨーロッパ州の学習をまとめよう</p>	<p>学習内容の振り返りを思考ツールを活用してまとめる活動を通して、ヨーロッパ州の地域的特色を多面的・多角的にとらえ、主体的に単元のまとめをすることができる。</p>	<p>1 これまでの学習を振り返り、思考ツールのステップチャートの使い方を確認して課題化する。</p>	<p>これまで学習してきたことを多面的・多角的に考察しながら、ステップチャートにまとめる活動に主体的に取り組んでいる。</p> <p>態度 = 書き加えた内容</p> <p>思考 = ステップチャート</p>	<p>◇ヨーロッパ州の統合について、社会的事象を整理したり、順序立てて説明したりすることに効果的なステップチャート</p> <p>自分の図になかった内容や、なるほどと思う内容を書き込むことを価値付ける。</p>
	<p>ヨーロッパ統合のメリットやデメリットについてステップチャートにまとめよう。</p> <p>2 ステップチャートを作成する。</p> <p>3 作成した図を班や全体交流で発表し、自分の図になかった内容があれば書き加える。</p> <p>4 単元を貫く課題について自分の考えをまとめる。</p>			
<p>ヨーロッパ州は、民族を基にした小国が多いことや地域により異なる農業が盛んである。また、共通の文化が多いヨーロッパの国々が統合することで、政治的、経済的な結び付きを強め、さらに国境を越えた移動や共通通貨を用いて買い物ができるようになった。一方で、EU加盟国間での国民総所得の格差や人口の流出、国内の雇用の悪化など、多くの課題点もあるため、今後は課題についても考えていく必要がある。</p>				